

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題デカン酸のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験試験番号

EDR 9 8 0 0 8

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : デカン酸
- 2) 曝露方法 : 半止水式（毎日、試験液の全量を交換）
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 曝露期間 : 21日間
- 5) 試験濃度 : 対照区, 助剤対照区, 0.20, 0.64, 2.0, 6.4 および 20 mg/L
(公比 3.2、助剤濃度: 100 μ L/L、助剤: ジメチルホルムアミド)
- 6) 試験液量 : 1容器 (連) につき 80mL
- 7) 連数 : 10容器 (連) / 試験区
- 8) 供試生物数 : 10頭 / 試験区 (1連に付き1頭)
- 9) 試験温度 : 20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照明 : 16時間明 / 8時間暗
- 11) 被験物質の分析 : GC-MS法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：0.20, 0.64, 2.0, 6.4 および 20mg/L (設定濃度)
設定濃度に対する実測濃度の割合が±20%を超えたが、
低濃度区において、一部、検出限界未満 (0.01mg/L未
満) の区が見られ、時間加重平均値が算出できないため
設定濃度を採用した。
- 2) 21日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)
： 20mg/L
- 3) 21日間の50%繁殖阻害濃度 (EC50)
： 0.51mg/L
- 4) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC) : 0.20mg/L
- 5) 21日間の最小作用濃度 (LOEC) : 0.64mg/L
(上記濃度は、各影響濃度の算出に採用した設定濃度で表示)